



得意と自信そして笑顔

1月25日に開催しました学校給食委員会及び学校保健委員会において学校内科医の小澤武史先生に「コロナ流行下における子どもの心と健康について」と題してお話をいただきました。ここでは、コロナ流行下の環境変化による子供たちの心の病やその回復の症例が紹介されました。その中で、小澤先生の「得意分野がある子、笑顔がある子は強い」という言葉が印象に残りました。小学校段階で得意分野を見付けたり極めたりすることは個人差もあり難しいことも考えられます。しかし、各自のペースで小さな成功を積み重ね、「分かった」、「できた」という自信が得意分野につながると思います。そして、自信が付けば笑顔も増えると思います。学校生活でも一人一人に応じた支援ができればと考えています。

また、小澤先生は子供が課題や問題を抱えた時は大人が寄り添うことが大切だとも話していました。新型コロナウイルス感染症が国内で発症してから丸3年になります。日頃から子供の変化を敏感に捉え、見守る気持ちを持ちもけたいと思います。

進学先の中学校は……

1月20日（金）

市教育委員会が推進する小中一貫教育・地域学校園の取組の一つである小学校6年生の中学校訪問が市内一斉に実施されました。児童は進学先の中学校に出向いて、中学校生活を垣間見ました。

児童の多数が豊郷中学校進学予定ですので、ここでは、そこでの様子の一端を紹介します。はじめに、豊郷中央小、海道小の6年生と共に体育館で学習や部活動、中学生としての心構えなどについて担当教員や生徒から話を聞きました。続いて、学級ごとに授業の様子を参観し、最後は小グループで部活動を見学しました。

中学校訪問は現時点での児童の不安を解消することも目的の一つです。新たな生活への期待が膨らんだ児童もいたと思いますが、小さな悩みや迷いについても卒業まで丁寧に対応したいと考えています。



感謝の気持ちを伝えよう

1月24日（火）

日頃から学校内外でお世話になっている方に感謝の気持ちを表そうと、児童会企画の「感謝の会」を行いました。児童のためにご尽力いただいている方は多数おられますが、コロナ禍を考慮して各団体等から代表者1名をお招きしました。

当日は多目的室に5・6年児童が入り、他学年は教室にて会場の模様を中継したテレビを見ながらの参加としました。児童代表による感謝の言葉、プレゼントと花束贈呈を経て、最後に全員で「ありがとう」の曲を合唱しました。

過去2年間は感謝の手紙を渡すだけでしたが、規模を縮小しながらもコロナ禍の前のように対面方式で実施できたことは一歩前進と捉えたいと思います。



また、児童は安心・安全に学校生活を送ることができるのは、多くの方のお陰だと再認識できたことでしょう。



上を目指す姿に感動

2月1日（水）

体育委員会児童が行う恒例企画「ピョンピョン跳びっ子大会」が全児童校庭に集合して行われました。これは1チームを12名以上として、長縄で8の字跳びを3分間行い、跳んだ延べ回数で競うものです。

昨年は体育館で学年ごとに実施していたため、他学年の競技を見るのは久しぶりとなります。上級生が早く回る縄を調子よく跳ぶ光景を目にした児童は大きな拍手で称賛していました。結果について喜ぶ姿がある一方、悔しさの表情が見られた児童もいましたが、体験をとおしてチームの協力、結束について学んだと思います。ぜひ、来年につなげてほしいと願います。



令和4年10月31日から11月25日の期間において、教職員、保護者、児童そして学校関係者に学校経営全般に係るアンケート調査を行いました。その回答に当たっては、コロナ禍のため来校していただく回数が限定されていたことから、難しい内容もあったと推察します。そのような中にありながら、保護者の回答率が昨年は70.4%でしたが今回は83.4%となり13ポイント上がりました。学校としましてはより多くのご意見を聞くことは取組を振り返る貴重な機会と捉えておりますのでありがたく思います。

この度の調査結果を受け、教職員は12月下旬から項目ごとに分析し、対策をまとめています。また、先頃、地域協議会学校評価委員会にてその検討内容を報告しました。これらを踏まえて、教職員全体で今年度の取組を再考して次年度の教育に生かしていきたいと思ひます。引き続き、ご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。詳細は3月中旬以降に学校ホームページに掲載しますのでご確認ください。

		市内小学校の平均値と比較して→	太文字		市比較5point増		白抜き		市比較5point減		単位：%
No.		質 問	教職員		保護者		地域住民		児童生徒		
			R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	
1	A1	児童生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。	96.3	100.0	97.1	90.4			96.2	93.9	
2	A2A11	児童生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。	96.3	100.0	97.2	96.7	100.0	100.0	94.6	94.3	
3	A3	児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。	92.6	100.0	95.7	94.0	100.0	100.0	91.9	89.6	
4	A4	児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。	88.9	100.0	92.3	89.3	88.2	100.0	98.8	97.0	
5	A5A7	児童生徒は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。	100.0	87.0	83.1	76.8			95.0	90.0	
6	A6	児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。	100.0	100.0	91.5	86.4	93.8	100.0	95.4	94.8	
7	A8	児童生徒は、外国語（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。	100.0	100.0					92.3	92.2	
8	A9	児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。	85.2	91.3	87.6	70.5			88.5	91.3	
9	A10A25	児童生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。	100.0	95.7	87.0	79.7			94.2	93.5	
10	A12	児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。	77.8	91.3					88.5	90.9	
11	A13A16	教職員は、特別な支援を必要とする児童生徒や外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。	100.0	100.0							
12	A14	学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。	100.0	100.0	93.8	89.9	100.0	100.0	99.2	98.3	
13	A15	教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の児童生徒を大切に、児童生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。	100.0	100.0	94.1	87.1			97.3	97.8	
14	A17	学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。	100.0	100.0	99.3	95.3	100.0	100.0	93.5	92.2	
15	A18	教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。	96.3	100.0	94.6	89.6			99.2	97.0	
16	A19	学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。	100.0	100.0							
17	A20	学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。	92.6	100.0							
18	A21	学校は、「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。	100.0	100.0	88.4	87.5	100.0	####	89.7	88.0	
19	A22A23	学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。	100.0	100.0	96.4	95.1	100.0	100.0	95.4	93.9	
20	A24	学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。	100.0	100.0	95.6	96.4	100.0	100.0			
21	B1	児童は、友達同士、仲よく元気に遊んでいる。	100.0	100.0	97.9	97.4			99.2	97.8	
22	B2	児童は、一人一人のよさを、互いに認め合っている。	100.0	100.0	94.0	94.3			95.4	93.0	
23	B3	農業体験活動は、児童にとって楽しく大切な行事である。	100.0	100.0	99.3	98.7	100.0	100.0	98.8	98.3	
24	B4	児童は、進んで読書をしている。	100.0	87.0	72.8	58.8			78.1	73.5	
25	B5	児童は時と場に応じた言葉づかいをしている。	88.9	95.7	90.8	82.4	94.1	100.0	90.8	87.4	

豊北恒例の雛飾り

Utsunomiya City Toyosatokita Elementary School

2月10日（金）

今年も地域の方が校舎2階東側の廊下に雛人形を飾ってくださいました。40年以上も前から大切に保管してきた見事な八段飾りです。

さらに、今回は新たに地域から寄贈していただいた雛飾りセットが来賓玄関に登場しました。子供たちの健やかな成長と幸せな未来を願います。3月3日以降もしばらく飾っておきますので、来校の際はぜひご覧ください。

